

地方会優秀演題 (Young Investigator Award YIA) 推薦 ならびに CVIT 学術集会発表規定

制定 2014 年 10 月 1 日

改定 2015 年 1 月 23 日

改定 2016 年 7 月 6 日

(変更箇所下線部)

1. 推薦演題数

各地方会	ごとに	症例検討	1 題
		臨床研究	1 題

2. 推薦者会員条件

- 1) 当該年度の 7 月 1 日の時点で 40 歳以下とする。
- 2) CVIT の会員であること。
- 3) 過去に学術集会において Best Abstract 賞 (最優秀演題賞) に選ばれた者の推薦は認めない。
- 4) 年に 2 回開催される地方会において、同一演者が異なる演題で推薦されること、または臨床研究と症例検討において、同一演者が異なる演題で推薦されることは妨げない。

3. 優秀演題選出方法

- 1) 以下の 3 つの方法のどれかとする。
 - a. 各地方会で、(若手) 最優秀演題セッションを設け、演題を募集する。
多数の演題が応募された場合は、会長が抄録より症例、臨床研究 各々、5-10 演題を選定する。
 - b. 症例、臨床研究の演題に対して、それぞれ、座長 1 名並びに審査員若干名で選定演題の選考に加わる。審査員は会長が選定する。座長を学術集会長が兼任することは妨げない。
 - c. 選考用紙を用意し、以下の 4 項目、①抄録内容、②発表内容、③プレゼンテーション、④質疑応答、各 5 点満点で採点する。各選考委員は採点に加えて、順位を付ける。合計で順位点が最も低い発表者を最優秀演題とする。同点が出た場合には採点集計により順位を自動的に付す。最終的な選出結果を学術集会長、座長、審査員で認証する。
- 2) 各座長が以下の 4 項目、①抄録内容、②発表内容、③プレゼンテーション、④質疑応答、それぞれ 5 点満点で評価して総合得点を算出し、座長ごとの一位推薦演題を決める。その結果を踏まえ、各地方会の会長が抄録内容と各座長の推薦演題の総合得点を参考に症例検討ならびに、臨床研究、各 1 題、計 2 演題を決定する。
演題募集時に若手最優秀演題賞を選定する旨を示し、希望者は演題応募時に若手優

秀演題応募の希望の有無を確認しておく。

- 3) 演題選定に関しては、各地方会の特殊性もあり、上記以外の方法も妨げない。ただし、選出方法、選定過程は明記する。
- 4) 地方会が年に2回開催される支部では、それぞれのCVIT地方会で、学術集会長が決定した計4演題を各支部の優秀演題とする。
- 5) 各地方会選出優秀演題はCVIT年次学術集会で、若手優秀演題として、症例検討ならびに臨床研究の部で発表、審査の上、それぞれ1題、最優秀演題を決定する。審査員は学術集会長が決定する。
- 6) 当該学術集会の若手優秀演題とは重複しないように、学術集會会長が配慮する。
- 7) 最優秀演題は表彰の上、奨励金を授与する。奨励金の金額は学術集會会長が決定する。

本規約は2014年10月1日をもって、有効とする。

以上